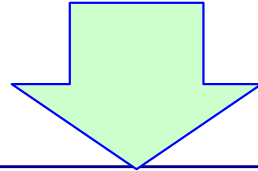


平成19年度末に開始する情報について  
- 周知・広報等 -

平成19年11月29日  
第2回 突風等短時間予測情報利活用検討会  
気象庁

# 周知・広報において注意すべきポイント(1)

竜巻等突風は、現象の寿命が短く、極めて局地的



現在の気象予測技術を最大限に活かしても  
竜巻等突風のすべてを捕らえ、現象が発生  
する前に情報が発表できるとは限らない。

「竜巻注意情報」は、・・・

➤ 利用者の置かれている状況に応じて、適切な活用の仕方がある。

⇒この観点から、情報の利用に向けたポイントを整理

# 周知・広報において注意すべきポイント(2)

## 「個人レベル」での利用の例示として……

- ・ 実際に個人個人が竜巻に出会う確率は小さい。しかし、遭遇すると、生命に係わる甚大な被害に至る場合がある。
- ・ ちょっとした行動でも、自分の命を守ることに繋がるので、その範囲での対応を推奨。  
(情報を受領、即刻回避行動・・・とまでは求めず、次にとるべき行動のトリガーとして活用することを想定)

## 本情報を受領したら、……

普段よりも周囲の空の状況変化に注意を払うなど、  
“危険”を回避するための、心の準備が必要です。

- ・ 竜巻等の突風により引き起こされる被害と、回避行動等取るべき措置について、基本的な知識を持っている人が少ない。  
→ 竜巻等の突風に関する基本的な知識を持っていないと、非常の際の回避行動につながらない。

# 周知・広報において注意すべきポイント(3)

## 「危険作業現場等」での利用の例示として……

- ・ 大きなリスクを回避するため、準備や対策を取る意味は大きい  
(被害を回避できた場合の効果は極めて大)
- ・ 3段階での情報 ▶▶▶▶ それぞれのステージで対応が可能
- ・ 「1時間限定」の情報 ▶▶▶▶ 見通しの明示で有効な利用
- ・ 情報を想定した訓練、対応マニュアル作成等、事前の準備で  
効果倍増

予告的な情報を含め、本情報を受領したら、…  
飛散する可能性のある物資の養生等、それぞれ、  
情報の段階に応じた、リスク回避行動をとって  
ください。

- ・ 的確な回避行動をとるためには…  
→ 竜巻等の突風に関する基本的な知識を持っていないと、非常の際の  
回避行動につながらない。

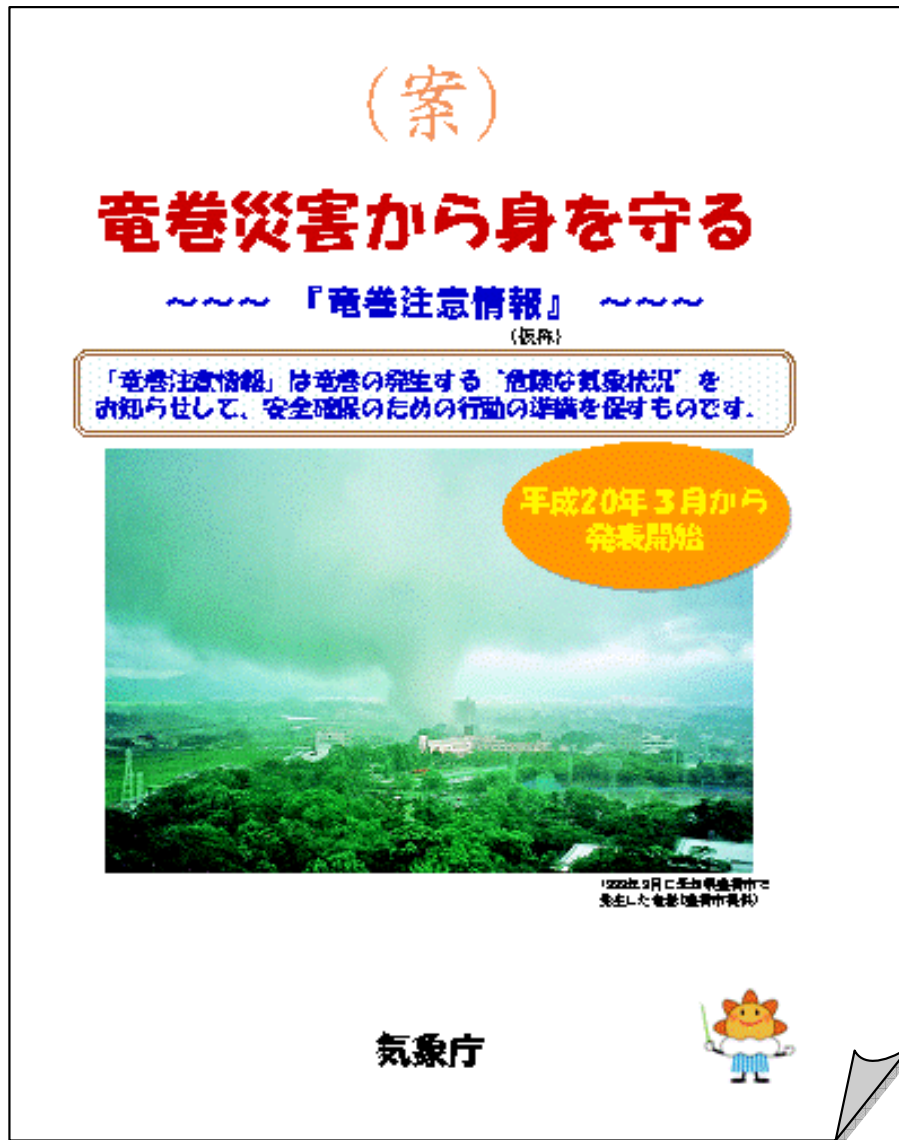
# 平常時からの周知・広報(案)

例えば・・・

- ・竜巻に関するパンフレットの作成・配布
- ・各気象台による防災気象講演会等での解説
- ・各自治体広報誌等への掲載協力依頼
- ・関係機関の協力を得た基本的な知識の普及

- 関係省庁、都道府県など関連する防災機関
- 報道機関
- 気象振興協議会
- 気象予報士会／気象キャスターネットワーク
- 気象友の会 など

# パンフレット(案)



平成19年度末発表開始の  
「竜巻注意情報」にターゲットを  
絞った、広報用パンフレットを作成

## □対象

- ・一般向け
- ・高所等危険作業従事者等の  
基本的な知識習得にも利用